

2025年度

法政大学大学院 デザイン工学研究科 募集要項

建築学専攻

修士課程（博士前期課程）選抜1年コース

修士課程（博士前期課程）キャリア3年コース

都市環境デザイン工学専攻

修士課程（博士前期課程）キャリア3年コース

法政大学大学院デザイン工学研究科

目 次

入試要項 建築学専攻	
建築学専攻修士課程「選抜1年・キャリア3年コース」の特色	4
建築学専攻修士課程：専任教員と専門分野	5
Ⅰ．建築学専攻修士課程選抜1年コース入試要項	6
Ⅱ．建築学専攻修士課程キャリア3年コース入試要項	8
入試要項 都市環境デザイン工学専攻	
都市環境デザイン工学専攻修士課程「キャリア3年コース」の特色	12
都市環境デザイン工学専攻：専任教員と専門分野	12
Ⅰ．都市環境デザイン工学専攻修士課程キャリア3年コース入試要項	13
建築選抜1年・建築キャリア3年・都市キャリア3年 共通事項	15
大学院入学検定料支払い方法	17

入 試 要 項

建築学専攻

建築学専攻修士課程「選抜1年・キャリア3年コース」の特色

近年、建築に関して、二つの大きな変化がある。一つは、建築を取りまく環境の国際化である。建築活動の地域的範囲が拡大し、国際的提携も増え、建築業務全般のボーダレス化が急速な勢いで進んでいる。この状況に対応した制度的整備として、各国が定めている建築業務資格の一本化や多国間での相互承認の気運が高まってきた。そのための基礎指標として、建築教育を受けた年数とその内容、および建築実務の経験年数がそれぞれの資格者に求められることとなり、その内容設定についての国際的なコンセンサスが固まりつつある。中でも、建築資格の国際認証に関する基本条件として、以下の3点がクローズアップされている。

- ① 建築に関する学習年数5年以上
- ② 国際対応教育機関のカリキュラムの中で、スタジオ形式によるデザイン教育の充実を図り、必要時間数を確保する
- ③ 実務経験を積むためのインターンシップ（実務実習を単位とする）制度の導入

これらの要請に応えるために、本専攻では新たなカリキュラムを設定し、4年制の建築系学部・学科の在学者から特に優れた成績または業績を有すると認められる者に対し、1年間での修了を可能にする「選抜1年コース」が設けられた。このコースでは、入学前に大学院の授業科目を先取り履修できる制度（現在、本学デザイン工学部在学生のみの対象）を利用して、1年という短い年限での履修を可能にするようなカリキュラム上の工夫を図っている。学部教育と併せた5年間の建築教育は上述のとおり、建築資格に関する国際認証の基本条件①を充足するものとなる。

また、二つ目の大きな変化として、国内外で活動する建築デザイナーや建築エンジニアが有する教育履歴の多様化がある。建築系学部や学科を卒業していない社会人で、建設業のみならず、出版、放送、行政、インテリア、ファッションなど、多様な業種を通じて建築との関連を経験し、その魅力に引かれて建築界に入った例は多くあり、また文学や美術、法律や経済など建築系以外の学部を卒業した後、大学院で建築を志す例もある。しかし、学部段階でデザイン教育を受けていないため、特にデザイン方面への志望者にとって、デザイン系科目の履修には大きな負担を伴う。建築領域以外の幅広い知識と経験を備えた建築家への社会的ニーズは今後さらに高まるものと思われるが、これまで日本の建築系大学院には非建築系学部・学科の卒業生にとっての適切な教育プログラムや、資格取得を意図したコースがほとんど用意されてこなかった現状がある。

そこで、非建築系学部・学科の卒業生またはそれに相当すると認められる者を対象として、指導ゼミに所属しながら、最初の1年間で合併授業科目（大学院と学部の双方で同時開講される基礎的な建築専門科目）を履修することにより、通常の2年コースに困難なく進めるための「キャリア3年コース」が設けられた。

もともとの2年コースおよび上記二つの特別コースからなる建築学専攻修士課程の大きな特徴は、修士論文を目指したリサーチ型教育に加えて、建築資格に関する国際認証の基本条件②と③に合致したデザイン教育を重視している点にある。入学後、所定のガイドラインに従って、主にリサーチ科目を履修するラボ系とデザイン科目を履修するスタジオ系に分けられる。

スタジオ系の主な活動空間はスタジオであり、基本的にそのディプロマ（卒業時最終成果物）は「修士設計」である。また、ラボ系のそれは実験室やフィールドを含む広い意味でのラボラトリであり、ディプロマは基本的に「修士論文」である。ラボ系の教育科目は講義と実験実習に関する指導ゼミが中心となるが、スタジオ系の教育は専門を異にする複数のスタジオ担当教員によるデザインスタジオ群により運営される。これによって建築デザインと都市設計や歴史的考察、あるいは構造設計や環境・設備設計などエンジニアリング面、その他ランドスケープデザインやCADデザインなど、総合的なデザイン学習が可能になる。

[専任教員と専門分野]

出願の前に希望する研究指導教員と面談を行い、出願の承諾を得てください。

※在籍教員は変更になる場合があることをご承知おきください。

建築デザイン	赤松 佳珠子 教授	建築設計・都市計画：建築・空間デザイン研究室
	安藤 直見 教授	建築計画：建築空間研究室
	岩佐 明彦 教授	建築計画学・建築計画学研究室
	小堀 哲夫 教授	建築設計・都市環境デザイン：建築設計・都市環境研究室
	山道 拓人 准教授	建築設計：建築計画・都市環境デザイン ：建築意匠・ソーシャルテクニクスデザイン研究室
	下吹越 武人 教授	建築設計・都市環境デザイン：建築・都市空間研究室
建築・都市史	高村 雅彦 教授	建築史・都市史：歴史・意匠研究室
建築構造	浜田 英明 教授	建築構造：建築構造計画研究室
	宮田 雄二郎 准教授	建築構造：建築構造工学研究室
建築環境	中野 淳太 教授	建築環境：建築環境・設備研究室
建築構法	網野 禎昭 教授	建築構法：建築構法研究室

※各教員の専門分野・研究業績等については以下を参照してください。

法政大学 教員紹介

<https://www.hosei.ac.jp/edn/kyoin/>



I. 建築学専攻修士課程 選抜 1 年コース入試要項

1. 建築学専攻修士課程選抜 1 年コースの概要

デザイン工学研究科建築学専攻に設けられた修士課程の 1 年コース。コースは募集対象により二つに分かれている。各コースの名称とその募集対象は次の通りである。

◆学部選抜 1 年コース

大学の建築系学部または学科の最終学年に在籍する者で、成績優秀表彰者、またはそれと同等な成績を有する者

※学部選抜 1 年コースは、標準修業年限は 2 年だが、1 年での早期修了を目指すコースです。

※本学デザイン工学部建築学科の最終学年に在籍する者で、成績優秀表彰者、またはそれと同等な成績を有する者を募集対象とする。

◆社会人選抜 1 年コース

大学の建築系学部または学科を卒業した者で、十分な設計の実務経験があると認められる者、もしくはコンペ入賞などの業績がある者、または学会発表論文、著書などによって十分な研究業績があると認められる者

2. 募集人員 学部選抜 1 年コース、社会人選抜 1 年コース 合計 2 名

3. 選考方法

一次試験：書類選考

二次試験：口述試験（一次試験合格者のみ）

※口述試験には、主要論文またはポートフォリオに基づくプレゼンテーションが含まれる。

4. 入学試験日程

課程	建築学専攻 修士課程	
コース	学部選抜 1 年コース	社会人選抜 1 年コース
出願期間	2024 年 6 月 3 日（月）～ 6 月 10 日（月） 厳守	
書類選考結果 発表日（注①）	2024 年 6 月 20 日（木）	
試験日および内容 （注②）	2024 年 7 月 7 日（日）10:00～ 口述試験（20 分程度）	
最終合格発表日	2024 年 7 月 17 日（水）	
入学手続期間 * 期間厳守	2024 年 11 月 18 日（月）～ 12 月 6 日（金） （銀行振込：締切日当日の銀行収納印有効、書類郵送：締切日当日の消印有効）	

注① 書類選考の段階で不合格となった場合は検定料（35,000 円）のうち、15,000 円を返金します。書類選考合格発表日から 1 ヶ月以内にデザイン工学研究科担当窓口へ申し出てください。返金手続き書類をお渡しします。

注② 口述試験では、プレゼンテーション用にプロジェクターとスクリーンを用意します。PC を使用する場合は各自持参してください。

5. 出願資格

- ・学部選抜 1 年コース：2025 年 3 月本学デザイン工学部建築学科卒業見込みの者で、学部 3 年終了時の GPA が原則 3.0 以上ある者
- ・社会人選抜 1 年コース：大学の建築系学部または学科を卒業した者

6. 出願手続

◎提出書類

学部選抜1年コース	社会人選抜1年コース
①入学志願票 ※検定料収納証明書貼付	①入学志願票 ※検定料収納証明書貼付
②成績・卒業見込証明書（厳封不要） * 出願前3ヵ月以内に発行されたもので、学部3年次までの成績が記載されたもの。	②卒業証明書及び成績証明書（厳封不要） * 出願前3ヵ月以内に発行されたもの。
③研究計画書（所定用紙）	③研究計画書（所定用紙）
④推薦書（所定用紙）1通	④推薦書（所定用紙）1通
⑤計画系志望者は、ポートフォリオまたはそれに代わるもの（書式自由）	⑤計画系志望者は、業績リストと、ポートフォリオまたはそれに代わるもの（書式自由）。 構造及び環境・構法系志望者は、論文リストと主要論文ファイル（書式自由）
⑥在留資格記載の住民票 3ヵ月以内に発行されたもの。 （日本に居住する外国籍者のみ）	⑥在留資格記載の住民票 3ヵ月以内に発行されたもの。 （日本に居住する外国籍者のみ）
⑦指導を希望する教員からの受入承諾書（所定用紙）	⑦指導を希望する教員からの受入承諾書（所定用紙）

※願書中の「職歴」欄に「入社」・「退職」・「在職中」などを正確に記入すること。

◎出願方法

出願書類は、必ず指導希望教員に受験の了解を得てから提出すること。

(1) 入学検定料 35,000円 *支払期間は出願期間に準ずる。

(2) コンビニエンスストアまたはクレジットカードで検定料を納入すること。

※支払い方法はP19「大学院入学検定料支払い方法」を参照

※銀行での振込を希望する場合は、提出締切日の2週間前までにデザイン工学研究科担当へ相談すること。

(3) 出願にはオンライン出願システム「The Admission Office（以降、「出願システム」と表記）」を通して書類提出・手続き等をする必要があります。別冊子「デザイン工学研究科入試要項 出願・受験にあたって<全入学制度共通>」をお読みください。

(4) 受験票は試験日の1週間前に出願システムで発行が可能となります（郵送はいたしません）。

※出願書類および検定料は返還しない。

7. 入学予定者に対する履修上の注意

◎修了者には「修士(工学)」の学位が授与される。

◎学部選抜1年コースの修了要件

以下の(1)(2)のいずれかを満たし、「早期修了判定委員会」により優れた業績を上げたと評価される必要があります。

(1) 本学大学院修士課程入学以降、早期修了申請時まで学会発表及び学術誌への投稿論文があること。

(2) 本学大学院修士課程入学以降、早期修了申請時までコンペ入賞あるいはそれと同等の業績があること。

◎本研究科建築学専攻ではデザイン工学部建築学科と合わせて、2013年度にJABEE認定を受けた。

但し、他大学から入学する場合には、その大学で建築士指定科目を履修していないと本学大学院を修了してもJABEE修了生とはなれない。

◎留学生の建築士の受験資格については、建築技術教育普及センターに問い合わせること。

II. 建築学専攻修士課程 キャリア3年コース入試要項

1. 建築学専攻修士課程キャリア3年コースの概要

大学の非建築系学部または学科の卒業者を対象に、将来の建築関係資格の取得を可能とするよう設けられた修士課程3年コース。

※外国人学生については、海外の大学で建築系学部または学科を卒業していても受験することができます。出願資格については後述「4. 出願資格」を確認のこと。

2. 募集人員 3名

3. 入学試験日程

	7月入試	2月入試
課程・コース	建築学専攻 修士課程・キャリア3年コース	
出願期間	2024年6月3日(月) ～6月10日(月) 厳守	2025年1月10日(金) ～1月17日(金) 厳守
試験日および 内容 (注1)	◆筆記試験 2024年7月6日(土) 小論文 9:30～12:30 ◆口述試験 2024年7月7日(日) 10:00～	◆筆記試験 2025年2月18日(火) 小論文 9:30～12:30 ◆口述試験 2025年2月19日(水) 10:00～
合格発表日	2024年7月17日(水)	2025年2月25日(火)
入学手続期間 *期間厳守	2024年11月18日(月) ～12月6日(金)	2025年2月25日(火) ～3月4日(火)
	(銀行振込：締切日当日の銀行収納印有効、書類郵送：締切日当日の消印有効)	

(注1) 出題および回答はすべて日本語

4. 出願資格

次の1～9のいずれかに該当する者で本コースを第1志望とする者

但し、建築士指定科目を用意している学科・課程・コースを2025年3月に卒業見込み、または既に卒業した者を除く。

1	日本の大学を卒業した者、又は2025年3月末までに日本の大学を卒業見込みの者
2	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、又は2025年3月末までに同機構より学士の学位を授与される見込みの者
3	外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は2025年3月末までに修了見込みの者
4	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、又は2025年3月末までに修了見込みの者
5	我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、又は2025年3月末までに修了見込みの者
6	外国の大学、その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である過程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者、又は2025年3月末までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
7	専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を

	満たすものに限る。) で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（2025年3月末までに修了見込みの者も含む）
8	文部科学大臣の指定した者 ※但し、8により受験しようとする者は、出願締切日1カ月前までにデザイン工学研究科担当へ問い合わせてください。
9	本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者 ※但し、9により受験しようとする者は、出願前に必ず「出願資格審査」の手続きが必要です。出願締切日の1カ月前まで指導希望教員と面談を行い、承諾を得た上でデザイン工学研究科担当へ問い合わせてください。

5. 出願手続

◎提出書類

- ①入学志願票※願書中の「職歴」欄に「入社」・「退職」・「在職中」などを正確に記入すること。
- ②研究計画書（所定用紙）
- ③出身大学の指導教授の推薦書1通（所定用紙）
- ④法政大学における指導を希望する教員からの受入承諾書（所定用紙）
- ⑤最終学歴の卒業（見込）証明書及び成績証明書（厳封不要）
出願前3カ月以内に発行されたもので、学部3年次までの成績が記載されたもの。
- ⑥外国人学生は「外国人学生特別入学制度」に準じ、次の書類も提出してください。
在留資格記載の住民票（3カ月以内に発行されたもの。日本に居住する外国籍者のみ）
* 国外志願者はパスポートの写し
- ⑦TOEIC®または TOEFL®の成績通知書
※日本人学生のみ。海外からの留学生は免除。
※大学入学後に受験した TOEIC®、TOEIC® IP、TOEFL® PBT、TOEFL® iBT、TOEFL iBT Paper Edition のスコアカードにより判定を行う。TOEIC® IP については、本学デザイン工学部が実施したものに限り。

◎出願方法

- 出願書類は、必ず指導希望教員に受験の了解を得てから提出すること。
- (1) 入学検定料 35,000円 * 支払期間は出願期間に準ずる。
 - (2) コンビニエンスストアまたはクレジットカードで検定料を納入すること。
※支払い方法はP19「大学院入学検定料支払い方法」を参照
※銀行での振込を希望する場合は、提出締切日の2週間前までにデザイン工学研究科担当へ相談すること。
 - (3) 出願にはオンライン出願システム「The Admission Office（以降、「出願システム」と表記）」を通して書類提出・手続き等をする必要があります。別冊子「デザイン工学研究科入試要項 出願・受験にあたって<全入学制度共通>」をお読みください。
 - (4) 受験票は試験日の1週間前に出願システムで発行が可能となります（郵送はいたしません）。
※出願書類および検定料は返還しない。

6. 入学予定者に対する履修上の注意

◎キャリア3年コースの修了所要単位数と在学年限

- ・修士の学位を得ようとする者は、デザイン工学部建築学科との合併授業科目の15単位以上と、大学院デザイン工学研究科建築学専攻修士課程授業科目の30単位以上を合わせた合計45単位以上を修得し、修士設計または修士論文の審査並びに最終試験に合格しなければならない。
- ・修業年限は3カ年とし、6年を超えて在学することはできない。

◎一級建築士試験の受験資格

・本コースの履修者で、所定のガイドラインを満たした者は、建築士試験合格後、所定の実務経験を経て、一級建築士の免許登録をすることができる。

◎修了者には「修士（工学）」の学位が授与される。

◎本研究科建築学専攻ではデザイン工学部建築学科と合わせて、2013 年度に JABEE 認定を受けた。但し、他大学から入学する場合には、その大学で建築士指定科目を履修していないと本学大学院を修了しても JABEE 修了生とはなれない。

◎留学生の建築士の受験資格については、建築技術教育普及センターに問い合わせること。

入 試 要 項

都市環境デザイン工学専攻

都市環境デザイン工学専攻修士課程「キャリア3年コース」の特色

デザイン工学研究科は、デザイン工学に関わる専門職業人と高度な研究能力を有する研究者の養成を目的としている。これらを達成するためには、入学者が学部段階で獲得しておくべき基礎的な学力が問われる。一方、建設や製造に関わる現場環境並びに業態が多様化し、国際化している現代にあつては、専門分野に特化した人材以外に、多様な教育履歴を有する幅広い人材が必要とされている。また、急速に進む技術革新に適応するためには社会人に対するリカレント教育も必要となつてきている。この趨勢は、都市環境デザイン工学の分野においても全く同様で、社会基盤の整備には、地球規模の環境保全、自然環境と共生できる都市づくり、循環型社会の構築など、多面的な課題対応が求められている。したがって、技術者は社会基盤の整備が人々の生活の利便性や経済活動の活性化に果たすプラスの役割と、自然環境を損なうようなマイナスの作用を正確に把握し、適切な工学的判断をしながら業務や研究を遂行する必要に迫られている。つまり、これまでのような専門分野に特化した技術系教育のみに基礎をおく感覚と発想では、対応がなかなか難しくなりつつある。

こうした時代の要請に応えるためには、入学制度の多様化により、教育・研究の場においても様々な基礎力とセンスを持つ学生が一堂に会することが重要となる。これにより、幅広い視点から洞察する感覚が形成され、相互に切磋琢磨する教育環境が醸成されることとなり、総合的なデザイン能力の養成が可能となる。以上の観点から、本専攻では、従来型の「一般入学制度・学内推薦入学制度」「一般推薦入学制度」「社会人特別入学制度」「外国人学生特別入学制度」に加え、人文・社会系なども含め都市環境デザイン工学系ではない学部・学科の卒業生などを積極的に受け入れることを目的として「修士課程 キャリア3年コース制度」を設けることとした。

[専任教員と専門分野]

出願の前に希望する研究指導教員と面談を行い、出願の承諾を得てください。

※在籍教員は変更になる場合があることをご承知おきください。

都市プランニング系	今井 龍一 教授	都市交通計画、土木情報学
	高見 公雄 教授	都市設計、都市デザイン工学
	福井 恒明 教授	景観計画、景観設計
環境システム系	酒井 久和 教授	地盤地震工学、防災工学
	鈴木 善晴 教授	水文気象学、水文環境学
	道奥 康治 教授	陸水域環境
施設デザイン系	内田 大介 教授	鋼構造物、メンテナンス工学
	溝淵 利明 教授	コンクリート材料学、構造物診断技術
	山本 佳士 教授	構造工学、計算工学

※各教員の専門分野・研究業績等については以下を参照してください。

法政大学 教員紹介

<https://www.hosei.ac.jp/edn/kyoin/>



I. 都市環境デザイン工学専攻修士課程 キャリア3年コース一般入試要項

1. 概要

本制度は、都市環境デザイン工学系ではない学部・学科の卒業生またはそれに相当すると認められる者を受け入れる制度である。

2. 募集人員 2名

3. 入学試験日程

	7月入試	2月入試
課程・コース	都市環境デザイン工学専攻 修士課程・キャリア3年コース	
出願期間	2024年6月3日（月） ～6月10日（月） 厳守	2025年1月10日（金） ～1月17日（金） 厳守
試験日 および内容 （注1）	2024年7月6日（土） ◆筆記試験 小論文 9:30～12:30 ◆口述試験 14:00～	2025年2月18日（火） ◆筆記試験 小論文 9:30～12:30 ◆口述試験 14:00～
合格発表日	2024年7月17日（水）	2025年2月25日（火）
入学手続期間 * 期間厳守	2024年11月18日（月） ～12月6日（金）	2025年2月25日（火） ～3月4日（火）
	（銀行振込：締切日当日の銀行収納印有効、書類郵送：締切日当日の消印有効）	

（注1）出題および回答はすべて日本語

4. 出願資格

次の1～9のいずれかに該当する者で本コースを第1志望とする者。

但し、建築士指定科目を用意している学科・課程・コースを2025年3月に卒業見込み、または既に卒業した者を除く。

1	日本の大学を卒業した者、又は2025年3月末までに日本の大学を卒業見込みの者
2	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者、又は2025年3月末までに同機構より学士の学位を授与される見込みの者
3	外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は2025年3月末までに修了見込みの者
4	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、又は2025年3月末までに修了見込みの者
5	我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、又は2025年3月末までに修了見込みの者
6	外国の大学、その他の外国の学校において、修業年限が3年以上である過程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者、又は2025年3月末までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
7	専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（2025年3月末までに修了見込みの者も含む）

8	文部科学大臣の指定した者 ※出願締切日 1 カ月前までにデザイン工学研究科担当へ問い合わせてください。
9	本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達した者 ※出願前に必ず「出願資格審査」の手続きが必要です。出願締切日の 1 カ月前までに、指導希望教員と面談を行い、承諾を得た上でデザイン工学研究科担当へ問い合わせてください。

5. 出願手続

◎提出書類

- ①入学志願票 ※願書中の「職歴」欄に「入社」・「退職」・「在職中」などを正確に記入すること。
- ②研究計画書（所定用紙）
- ③出身大学の指導教授の推薦書 1 通（所定用紙）
- ④法政大学における指導を希望する教員からの受入承諾書（所定用紙）
- ⑤最終学歴の卒業（見込）証明書及び成績証明書（厳封不要）
出願前 3 カ月以内に発行されたもので、学部 3 年次までの成績が記載されたもの。
- ⑥外国人学生は「外国人学生特別入学制度」に準じ、次の書類も提出してください。
在留資格記載の住民票（3 カ月以内に発行されたもの。日本に居住する外国籍者のみ）
* 国外志願者はパスポートの写し
- ⑦TOEIC®または TOEFL®の成績通知書 ※日本人学生のみ。海外からの留学生は免除。
大学入学後に受験した TOEIC®、TOEIC® IP、TOEFL® PBT、TOEFL® iBT、TOEFL iBT Paper Edition のスコアカードにより判定を行う。TOEIC® IP については、本学デザイン工学部が実施したものに限る。

◎出願方法

出願書類は、必ず指導希望教員に受験の了解を得てから提出すること。

- (1) 入学検定料 35,000 円 * 支払期間は出願期間に準ずる。
- (2) コンビニエンスストアまたはクレジットカードで検定料を納入すること。
※支払い方法は P19「大学院入学検定料支払い方法」を参照
※銀行での振込を希望する場合は、提出締切日の 2 週間前までにデザイン工学研究科担当へ相談すること。
- (3) 出願にはオンライン出願システム「The Admission Office（以降、「出願システム」と表記）」を通して書類提出・手続き等をする必要があります。別冊子「デザイン工学研究科入試要項 出願・受験にあたって〈全入学制度共通〉」をお読みください。
- (4) 受験票は試験日の 1 週間前に出願システムで発行が可能となります（郵送はいたしません）。
※出願書類および検定料は返還しない。

6. 入学予定者に対する履修上の注意

◎キャリア 3 年コースの修了所要単位数と在学年限

- ・修士の学位を得ようとする者は、デザイン工学部都市環境デザイン工学科との合併授業科目の 15 単位以上と、大学院デザイン工学研究科都市環境デザイン工学専攻修士課程授業科目の 30 単位以上を合わせた 45 単位以上を修得し、修士論文の審査並びに最終試験に合格しなければならない。
- ・修業年限は 3 カ年とし、6 年を超えて在学することはできない。

◎修了者には「修士（工学）」の学位が授与される。

◎資格について

- ・施工管理技士、測量士について、本学課程を修了しても、受験時の実務経験および試験免除の措置はない。
- ・留学生の方の建築士の受験資格については、建築技術教育普及センターに問い合わせること。

建築選抜 1 年・建築キャリア 3 年・都市キャリア 3 年 共通事項

1. 試験会場・合格発表

◎試験会場

法政大学市ヶ谷田町校舎 東京都新宿区市谷田町 2-33

（JR 市ヶ谷駅下車徒歩約 10 分、東京メトロ有楽町線・南北線市ヶ谷駅下車徒歩約 5 分）

◎合格発表

出願システムにて行います。また、合格者には合格通知を郵送します。

2. 受験にあたっての注意事項

- ・受理した出願書類・検定料は返還しない。
- ・受験者は試験開始 15 分前までに必ず試験場（集合場所）に入室すること。
- ・受験者が遅刻した場合、試験開始 30 分以降の入室は認めない。
- ・試験場及び試験場控室での携帯電話の使用は認めない。
- ・可否の問い合わせには応じない。

3. 入学手続き（建築学専攻選抜 1 年コースは 7 月入試のみ）

◎合格者への入学手続き書類の発送時期

7 月入試合格者 2024 年 11 月 18 日（月）を予定

2 月入試合格者 2025 年 2 月 25 日（火）を予定

※入試出願時以降、上記の発送時期までに住所を変更した場合は必ずデザイン工学研究科担当窓口へ届け出ること。

◎入学手続き期間 ※期間厳守

7 月入試合格者 2024 年 11 月 18 日（月）～12 月 6 日（金）

2 月入試合格者 2025 年 2 月 25 日（火）～ 3 月 4 日（火）

※銀行振込：締切日当日の銀行収納印有効、書類郵送：締切日当日の消印有効

◎用意するもの

①入学手続き時の納入金

②住民票（市区役所等で発行される証明書本書）1 通

※3 ヶ月以内に発行されたもの。外国籍者は在留資格が記載されていること。

③写真（3 ヶ月以内に撮影したもの・縦 3cm×横 3cm）1 枚

※写真は本人確認のために使用するため加工しないこと。

4. 学費

学費は次の通りを予定している。前期（4 月末）と後期（9 月末）の 2 回に分けて納入する。但し、1 年次（初年度）の前期分は、入学手続き書類の提出と同時に納入する。

2025 年度（予定）

入学金	自校	-	
	他校	200,000 円	
授業料		半期分：385,000 円	年額：770,000 円
教育充実費		半期分：50,000 円	年額：100,000 円
実験実習費		半期分：50,000 円	年額：100,000 円
入学手続き時 納入金※	自校	485,000 円	
	他校	685,000 円	

※上記授業料、教育実習費、実験実習費の半期分。他校生は入学金も含む。

注意

- (1) 自校とは、本学の学部（通信教育部含む）卒業者を指し、他校とは、その他の者を指す。
- (2) 一旦納入した入学金はいかなる理由があっても返還しない。

<入学手続後の学費等の返還について>

入学手続を完了した後（入学時納入金を全額納入した後）に、やむを得ない理由により入学辞退を希望し、2025年3月31日までに本大学院が定める手続きにより入学辞退の届け出をした者には、入学金を除く授業料その他の納入金を返還する。詳細は、合格者に送付される「入学手続書類」を参照のこと。

<参考：奨学金について> ※詳細は入学後に市ヶ谷学生センターに確認すること。

- ① 日本学生支援機構大学院奨学金
毎年その年度の枠内で選考の上採用している。
貸与月額(無利子) 修士課程 50,000円または88,000円(予定)
上記無利子の奨学金のほか、有利子の奨学金もある。
- ② 法政大学 100周年記念大学院修士課程奨学金
採用数は若干名、給付額は年額200,000円(予定)

5. 安全保障輸出管理

法政大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「法政大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受け入れに際し、厳格な審査を実施しています。規程事項に該当する場合は、希望する教育が受けられないケースや研究ができないケースがありますので、注意してください。

6. 授業科目、シラバス、担当教員の専門領域等

以下の大学HPを参照のこと。

受験案内 <https://www.hosei.ac.jp/gs/jukensei/index.html>

シラバス <https://syllabus.hosei.ac.jp/web/show.php>

学術研究データベース <https://kenkyu-web.hosei.ac.jp/scripts/websearch/index.htm>

7. 問い合わせ先

法政大学大学院デザイン工学研究科

〒162-0843 東京都新宿区市谷田町2-33 E-Mail : jsd@hosei.ac.jp TEL : 03-5228-1347

「研修生」との併願について

修士課程の志願者で、不合格となった場合に研修生入試への出願を希望する者は、事前に希望指導教員に確認のうえ、入学志願票に明記すること。

研修生の詳細については、「法政大学大学院デザイン工学研究科 [研修生] 入試要項」を確認すること。※7月入試の志願者は対象外です。